

市民の力で温暖化防止へ さまざまな取り組みが 行われていています

札幌市では、環境保全のために市民、事業者、そして市が行うべき行動計画を「ローカルアクション21さっぽろ」としてまとめました。さまざまな取り組みで、この行動計画をリードする団体とその活動内容、環境教育や学習の推進事例などを紹介します。

◎子どもエコクラブさっぽろ

子供たちが自主的に、環境を学ぶ「子どもエコクラブ」。市内では昨年度、十七クラブ三百九人が、主体的にリサイクル活動の実践や町のエコチェックを行いました。クラブの中には、二酸化炭素を



2000年度の活動発表会。
「アースキッズ」は川の水生昆虫について調べた結果を報告

お申し込み・お問い合わせは
札幌市子どもエコクラブ事務局
環境活動推進課
☎211-2877 / FAX 218-5108



多く吸収するケナフ（製紙原料にもなる一年草）の栽培を行うなど、地球温暖化防止にも積極的に取り組んでいるところもありました。

◎小学生向け総合環境副教材
身近な話題から環境を学ぶ「ごみ問題やリサイクル、北国ならではの雪対策まで、環境に関するテーマを網羅した「札幌市総合環境副教材」。観察や実験などを手助けする「自由研究」のページも設け、総合学習の副教材としても活用できるように、アイデアと工夫を凝らしました。このような副教材の作成は、政令指定都市では初

めの試みです。
一方、苗穂小学校（東区）、藻岩小学校（南区）、幌北小学校（北区）では、小動物や植物の生態系を身近で学べる「学校ビオトープ」を設置。生きた環境教育を実践しています。



1・2年生向け、3・4年生向け、5・6年生向けの3種類。ご希望の方は、環境活動推進課 ☎211-2877へ。

カッコウの里を語る会
地域の森が元気になれば、私たちの地球も元気になります。



会長 馬場 宏さん

カッコウの里を語る会には、南区常盤の住民を中心とする約40人の会員が在籍しています。常盤の美しい自然を守ることを活動趣旨として、周辺地区の川や森の清掃などを行ってきました。一昨年の秋からは、常盤地区にあるおよそ1.3㍊の国有林で、森づくりにも取り組んでいます。今、国内には間伐などの手入れを必要としている森が数多く存在し、ボランティア活動で森づくりに取り組む団体が増えています。森林の破壊は、地球温暖化の一因とも言われています。地域の森が自然本来の力を取り戻すことは、住環境や健康を守るだけでなく、温暖化防止にも役立つと考えています。

私たちの会では、地域の子供たちにも参加しやすい仕組みをつくらうと考えています。森づくりや地域の清掃を通して、実際に木に触れ、ごみを出さない暮らしの知恵を身に付けた子供たちがつくる未来には、地球温暖化などの環境問題を解決できる希望があると思います。（談）



南区常盤地区の国有林を借りて、ボランティアの森づくりに取り組む会員たち

◎太陽光発電装置

二酸化炭素排出量の削減を実感
平成十三年四月、西岡北小学校（豊平区）に、市内の小学校では初めて、太陽光発電装置が設置されました。この装置の出力は最大一〇キロワット。年間発電量は校内での使用量の約八％に相当すると予想しています。この装置と併せて玄関ホールに設置された表示パネルでは、全校で使用している電気の何％が太陽光発電で賄われているか、それによって二酸化炭素の排出量がどれだけ削減されているかなどが、ひと目で分かります。それらの情報によって温暖化防止へ



子供たちは、このパネルを見るだけで二酸化炭素排出の削減量などを知ることができます



の呼び掛けを行う壁新聞の作成を六年生の授業に取り入れ、教材としても活用しています。
この装置の導入をきっかけに環境への関心が高まった同校では、ごみの分別や、電気使用量を金額に換算して表示する省エネナビの設置も行っています。なお、同規模の太陽光発電装置が十四年二月に八軒北小学校（西区）にも設置されました。

◎環境保全アドバイザー制度
7分野27人の専門家を派遣
平成五年、市民の自主的な環境保全活動の支援を目的にスタート。

市民団体などが環境に関する講演会や自然観察会などを開催する際、要請に基づき、講師やアドバイザーとして派遣されます。平成十三年度は「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」の分野の専門家の方々に、アドバイザーとなっていました。



アドバイザーは、環境学習会を支援しています。写真は古平町で実施された「川の観察会」の様子

市民太陽光発電実行委員会 ホワイトイルミネーションを 太陽電池で！

代表 新保るみ子さん



市民太陽光発電委員会では、さっぽろホワイトイルミネーションの会場に、二酸化炭素を出さない太陽電池と風力発電を電源とするクリスマスツリーを設置しました。高さ約4㍊のカラマツに、ELシートというプラスチック板のような発光素子を、子供たちが喜ぶような星や動物などの形にして、約500枚取り付けたんです。面全体がやわらかく光るELシート独特の輝きと、ツリーの横にある発電装置は、会場を訪れる人の注目を集めていました。こういったクリーンエネルギーに触れてみることを契機に、環境への関心を少しでも高められたらと願っています。
私たちは、次の時代を担う子供たちに平和で安全な環境を残すため、今何ができるかを考えて活動しています。今回の企画は、多くの市民や企業、自治体の皆さんに支えていただいて、実現することができました。今後も、だれにとっても分かりやすく楽しい形で、環境問題への取り組みの重要性を訴えていきたいですね。（談）



ホワイトイルミネーションで飾られたクリスマスツリー（右）と太陽電池・小型風力発電装置（上）



環境問題に関心を持つことが出発点。



身近な暮らしの環境問題を考える。
「愛・らぶサッポロ～環境チャンネル」
（テレビ広報番組）
毎月第2土曜日、10:45～11:00 HTBにて放送中
詳しくは広報課 ☎211-2036

Q3: 環境への負荷が少ないエネルギーを利用した電力をクリーン電力といいますが、それに該当する発電方法はどれでしょう。
石油火力発電 石炭火力発電 風力発電

A2: 非政府組織 NGOはnon-governmental organizationの略です。環境NGOは国家の枠組みにとらわれず、地球市民の立場で環境保全活動や環境事業を行う団体として注目されています。